

2024/8/23

令和6年度 第1回新庄北・新庄南・最上校

合同生徒会リーダー研修会 実施報告書

テーマ

「新しい学校に
新しい校風を！」



令和6年8月6日 10:00

場 所 県立新庄北高等学校 会議室

はじめに

令和8年4月より、新庄新高校（仮称）が開校。

一体どのような学校づくりをすればいいのか？どのように中学生に魅力を伝えたらよいか？これからどのような生徒会を創造していけばいいのか？

新高校に託す思いを語り合い、意見を交換し合い、勉強を重ねていく、第1弾として「キャンパス制事業」とのタイアップで、新庄北・新庄南・最上校の生徒会合同リーダー研修会を企画した。

テーマは「新しい学校に、新しい校風を！」※新庄北生徒会案

そのためには、高校側の考えや思考ではなく、今、中学生が高校に求めているもの、欲しがっているものを直接耳にすることができるように、講演では、最上中学校校長会より新庄市立新庄中学校 近内孝哉校長先生に講師をお願いし貴重な時間を過ごすことができた。

この講演で聞いた内容を午後から具現化し、今後の学校紹介・学校説明会の内容に、どのように盛り込んでいくか？どのように伝えていくか？グループワークを行った。

貴重な時間を新庄北・新庄南・最上校の生徒会で共有できた研修会について報告したい。



開会の挨拶

石山宣浩 新庄北校長より

1) 講演 10:00～

講師 新庄市立新庄中学校 近内 孝哉 校長先生



講演最初に行ったのは、「アイスブレイク」3校の生徒会メンバーは、緊張気味に講演に臨んでいたが、「アイスブレイク」を行った。アイスブレイクとは、初対面の人との会議や緊張感ある場を和ませるために行うコミュニケーション方法のことである。堅い雰囲気を「アイス」に

例え、それを壊すということで「アイスブレイク」と呼んでいる。

近内校長先生より、最初にグループ分けを行い、グループごと自己紹介を行うように指示を受け、色々な約束を決めながら、自己紹介を行った。グループ内で笑いも飛び出し緊張感を和らげることができた中で、本題に入る。

◎ 本題は4つ

- 1、リーダーがいない集団ってある？
- 2、中学校・義務教育学校の生徒会活動について
- 3、生徒会役員の気持ち・・・(アンケート内容から)
- 4、これからを作る生徒会 (演題)

1、まず最初に、集団や社会的組織にリーダーがいない場合はどうなるのか？

高校生は今一つ、実際にリーダーがいない集団をイメージできない様子であったが、近内校長よりリーダーがいない集団はどうなるか

●方向性の欠如 ●モチベーションの低下 ●効率が悪い ●意思決定の遅れ
●問題の放置 ●不満の蓄積 ●コミュニケーション不足 ●チームの絆の弱さ 以上を説明頂いた。

2、中学校・義務教育学校の生徒会活動について

次に今、中学生・義務教育学校の生徒会はどのような生徒会活動を行っているのかを説明頂いた。学年の縦と横のつながりを意識した清掃活動、広報活動や昼休み等の異学年の交流を重視しながら活動していることの紹介を頂いた。

3、生徒会役員の気持ち・・・(アンケート内容から)

この項目では、近内校長よりアンケートを実施して頂いた結果をもとに講演を進めて頂いた。

対象は生徒会活動に参加した中学生・高校生。生徒会活動に参加した充実感や苦勞したことなど生の意見を理解することができた。また今後の生徒会活動に期待することなど、中学生が高校生活活動との違いや高校に入学してから期待することなどについては非常に有益な意見・感想であった。



また最後の設問に「中学生・義務教育学校の生徒会活動をより活発なものにするためにはどんなことが大切でしょうか？アドバイスをひとつお願いします。」と高校生に投げかけた問いに、「したいと思ったことの計画をしっかりと立て実現することが大切」とアドバイスした高校生がいた。近内校長先生より、本当にその通りで、いろいろな体験から出た本音であろうアドバイスだと、お褒めの言葉を頂いた。

長先生より、本当にその通りで、いろいろな体験から出た本音であろうアドバイスだと、お褒めの言葉を頂いた。

4、これからを作る生徒会(演題)

最後の項目では学校目標をブレイクダウンする内容について、グループワークを入り交えながら進めて頂いた。目標を達成するための、テーマ作り、目標を達成するための事業の考案などグループごとに考え、意見を取りまとめ発表を行った。グループからは様々な事業や活動の具体案を発表していた。またグループワークにおいては、特にリーダー等を設けていなかったが自然発生的にリーダーや補佐的な役割をする生徒が現れ非常に効率よく活動していたのが印象的だった。



講演の最後に質疑応答・感想発表会を行った。近内校長先生より、丁寧にわかりやすく回答を頂き、午後からのグループワークにつなげることができる良い機会となった。

3) 13:00 ～ グループワーク



午後からは、グループワークを行った。大きな目的は、学校説明会でのプレゼンテーションや、10月上旬に開催予定の「最上高等学校フェスティバル」での発表準備。

特に、「最上高等学校フェスティバル」の学校紹介においては、その対象となるのは現在の中学2年生。新庄新高校（仮称）の最初の入学生となる中学生である。午前中の講演を参考に、今、中学生が知りたいことや、今後、生徒会がどのような学校づくり、生徒会づくりをしたいのかを、発表にどのように盛り込んでいくかが話し合われた。

授業・学校行事・部活動・生徒会・普段の生活・新高校の校則などに、学校生活全般において多岐にわたる話し合いが行われた。

報告のまとめ

新高校という全く想像できない状況より、近内校長先生より頂いた講演、新庄北・新庄南・最上校3校の生徒会が、新しい学校へ託すこと、こんな学校にしたいという意気込みの具現化・第一歩が踏み出せたような気がした。非常に有意義な時間であった。今回のリーダー研修会はこれで最後ではなく、今後も継続して開催し色々な課題について様々な取り組みを企画していき「新しい学校に・新しい校風を」。生徒が居心地がよく、柔らかな風が吹く学校をめざして。

